

令和6年度青森県医療的ケア児保育普及啓発フォーラム アンケート結果

【開催日時】 令和6年10月28日(月) 13:00~16:00

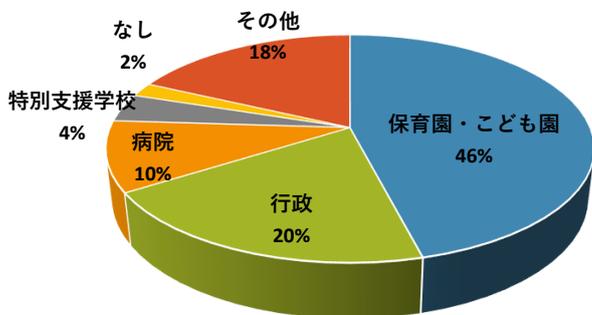
【会場】 県民福祉プラザ 4階 県民ホール

【参加人数】 87人

【回答者】 50人

【アンケート回収率】 57%

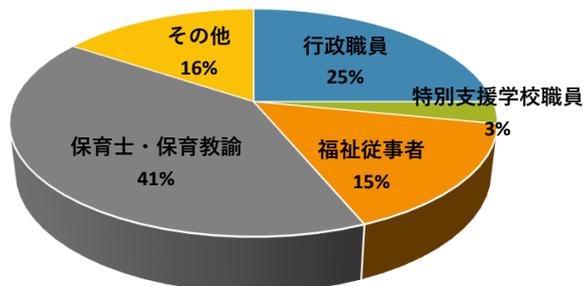
1 所属



▼その他所属

児童発達支援・放課後等デイサービス
 障害者支援施設
 相談支援事業所
 訪問看護ステーション
 訪問看護ステーション
 薬局
 福祉施設

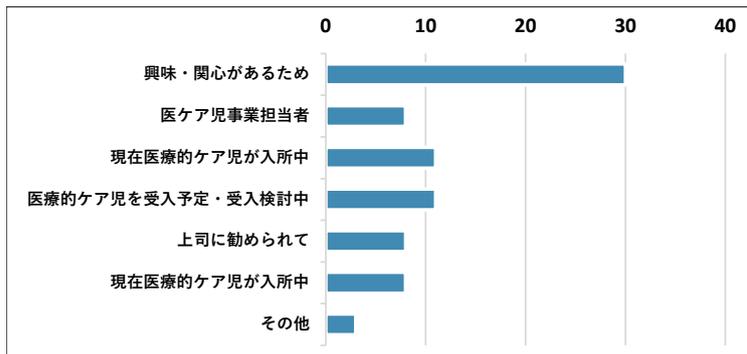
2 職種



▼その他職種

園長
 副園長
 相談員
 薬剤師

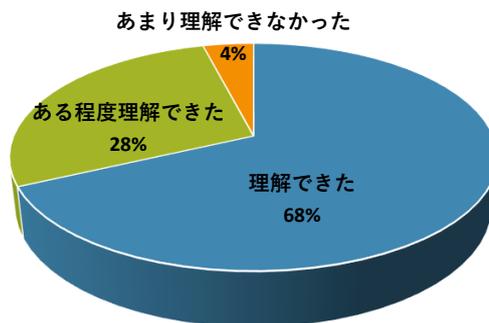
3 参加の理由・きっかけ (複数回答)



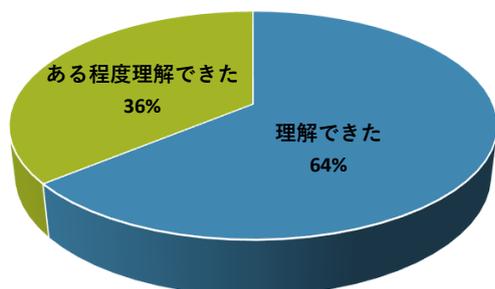
▼その他

NICU.GCU勤務のため
 今後の参考

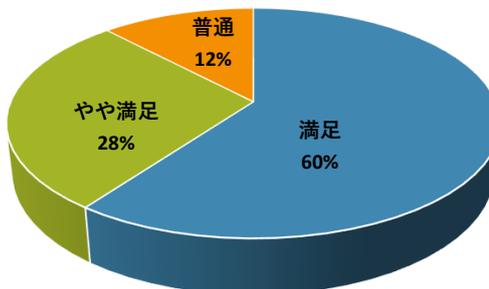
4 講義について



5 事例発表について



6 満足度



7 内容に対するご意見・ご感想

行政での取り組みや現状、実際の保育園でのケア児の受け入れなど様々なことが聞く事ができて良かったです。
医療的ケア児に対する理解が深まり、今まで以上に興味を持ち、自分のケアを深めていきたいと思います。
現在受け入れているケア児の年齢が、ほとんど高かったので、1歳未満の事例も聞いてみたかった。
受け入れ要望から受け入れまでの流れを詳しく知ることができてよかった。
今年度初めて参加しましたが、保育士にも看護師にも、施設管理者向けにもなるような内容だったのでわかりやすくて良かったです。
司会進行の声が聞きとりづらい時がありました。
こちらのスピーカーを調整しても聞こえにくかった。
導入・対策の壁が市町村によって差があることがわかり有意義だった。すすんでいっていることは嬉しいが、こども・家族、保育園などの困りごとを、もっと知りたかった。
貴重なご講演をありがとうございました。医療、福祉、教育、行政等の他職種連携や広域的に地域医療的ケア児の受け入れを進めていくことが受け入れ拡充につながっていくと学ぶことができました。
保育園でのケア児受け入れ状況を知ることができました。訪問看護の派遣、進めて行ければと思います。全体でサポートできればと思います。
今回フォーラムを運営いただいた皆様に感謝申し上げます。大変参考かつ勉強になるお話ばかりでした。今後も受入施設のサポートや掘り起こし等を通じて、医ケア児の受入体制の整備を進めていきたいと思います。
事例発表等により保育現場の状況についてはある程度理解できたものの、今後受入体制を整備するにあたり行政側でのすべき事項に関する詳細や事務処理の流れ等を確認したかった。
内容に対する意見が分かりませんが、以前、初任者研修を受けた際に、経管栄養や痰の吸引を必須科目として受講したのですが、いざ仕事として勤務すると医療行為と言われました。その時は何故受講したのかと思っていましたが、今回の話を聞いていた時に看護師の確保について難しいのならそのように介護士で研修を受けた人が経管栄養等はできないのかと思いました。
貴重な研修に参加させていただきありがとうございました。奈良県でも少しずつ動いてきているとは思いますが、お断りしている市町村があるのが現状です。待機児童の問題がある市町村もあり、兄弟児すら入園できないため、母親の負担がかなり大きいです。
受講者が発表者に対してふさわしくない態度をとっているように感じられる場面があった。せっかく発表してくださっているのに、そのような光景が見られると、今後医ケア児に関する分野への理解や発展が遅くなる一因になるのではないだろうか。発表者も受講者も時間を割いて講義を行っているのだから、よりよい講義を展開できるよう対策してほしい。
医療的ケア児が身近にいない、話を聞いて、いざ自分たちが保育にあたるようになったらできるのか…と不安もありますが、今回の研修を受けて、まずは「知る」ところから始めてみようと思うことができました。アクションカードの活用は医療的ケア児の受け入れの有無に関わらず、園内でも取り入れ、緊急を要する時、誰が関わっても迅速な対応ができるよう、共通認識を持って対応したいと思いました。貴重なお話を、ありがとうございました。
このような機会を無料で提供して頂き非常に感謝しています。内容も事例が多数あったことから事業を検討している立場としては大変貴重な学びの機会となりました。また、オンラインと同時開催ということで、非常に助かります。一つだけ気になった点が、音質です。システム上仕方ない事かとは思いますが、音がこもって聞き取れない部分があり、その部分の資料がなかった場合は想像するしかないといった感じでした。ただ、それでもオンラインでしか参加できなかったため、開催自体に非常に感謝しています。ありがとうございました。

8 今後取り上げて欲しいテーマ

保育・教育、訪問看護以外の様々な職種(薬剤師など)に求められている支援の形などについても教えていただけると嬉しいです。
こどもは日々成長発達し親は疲れている。児童発達支援から保育園につなぐことも大切な役割だと考えている。福祉(児童発達支援・放課後デイサービスなど)の場面での看護師育成・確保の困難さ、対策や今後の展望など、取り上げていただきたい。
医療的ケア児は実際の話をも園長からなど話がきけて良かったです。ケアをしている看護師さんからの実体験など、思ったこと感じたことなど話を聞きたいです。
最後にお話していたように、保育教諭向けへの医療的ケア児の保育支援についての研修を増やしてもらいたい・医療的ケア児を受け入れている施設(保育園)の見学をしたり、医療的行為をしている所を見たい
医ケア児に関する研修受講は今年度が初めてでしたが、「保育士向け」「看護師向け」「管理者・施設長向け」のような職種別の研修があれば、新規受け入れのハードルがもっと下がるのではないかと思います。

